

※今月のみ受注の書目です。

政治思想

独裁と喝采

カール・シュミット〈民主主義〉論の成立

(2025 年 2 月中旬刊行予定)

松本彩花 (北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員) [著]

A5 判上製 / 488 頁 税込予価 6,600 円 ISBN978-4-7664-3009-7 C3031

📖 ココに注目!

- ・思想家カール・シュミットの特異な民主主義論はいかに形成されたのか。
- ・日記や最新の論考を用いながら、その形成過程を探る画期的論考。

ヴァイマル期ドイツの思想家カール・シュミット。彼の特異な民主主義論はどのようにして形成されたのか? 日記や未公刊の遺稿、最新の海外の論考を用い、民主主義に関するシュミットの思想的発展を初期まで遡り、統一的に解明する。

対象 (政治学・ヨーロッパ思想を専攻する) 研究者、大学院生

類書 古賀敬太『カール・シュミットとその時代』(みすず書房)

【営業部からのおすすめポイント】

権威主義体制の国が増え、ポピュリズムが多くの国を覆いつつある現在、再検討の機運が高まるシュミット。「人民の意志」を究極の正統性根拠とし、それに支えられた指導者に対して人民が喝采し協賛すること、という特異な民主主義思想はどのように形成されたのでしょうか。日記や草稿を参照し、同時代のケルゼンらの論考や最新の研究から精緻に分析した注目の一冊です。

(福本)

📖 目次、注文書、関連既刊を裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

第一章 国家・個人・法学方法論——シュミット民主主義論の諸前提（1910－1919年）

- 一 『国家の価値と個人の意義』における国家論
- 二 最初期シュミットにおける共同体と個人の関係
- 三 神学法学方法論をめぐるシュミットとケルゼン
- 四 擬制論をめぐるシュミットとケルゼンの議論

第二章 独裁研究の前提条件——第一次世界大戦中の戒厳状態論研究（1915－1919年）

- 一 第一次世界大戦開戦直後のシュミット
- 二 第一次大戦期シュミットの戒厳状態論——「独裁と戒厳状態」
- 三 「正規の刑事訴訟法上の手続きに対する戦争状態の影響」における戒厳状態論

第三章 独裁論の形成と主権独立論の成立（1919—1921年）

- 一 ミュンヘン商科大学講義録（1919年）——ボダン、ホッブス論
- 二 1919年ミュンヘン商科大学講義録におけるルソー論
- 三 『独裁』成立の諸状況と委任独裁論の形成——ボダン、ホッブス論
- 四 主権独裁論の展開——ルソー、シーエス論
- 五 プロレタリアート独裁評価をめぐるシュミットとケルゼン

第四章 政治神学・人民主権・主権独裁——シュミットの民主主義的正統性論（1922年）

- 一 例外状態と主権者——主権概念の決断主義的性格
- 二 政治神学的方法
- 三 主権概念の政治神学的解釈——君主主権と人民主権
- 四 独裁概念をめぐる継承関係——ドノソ・コルテスの独裁論
- 五 人民主権の成立過程をめぐる見解——シュミットとケルゼン

第五章 主権独裁と民主主義——民主主義論の展開（1923－1926年）

- 一 人民の意志・同一化・擬制——人民の意志という擬制の形成
- 二 民主主義における同質性
- 三 民主主義と政治的統一

第六章 人民投票モデル・喝采・カリスマ概念の継承——民主主義論の新たな展開（1927年）

- 一 人民投票モデル——モムゼンとの思想的関係
- 二 喝采——ペーターゾンとの思想的関係
- 三 カリスマ概念をめぐるヴェーバーとシュミットの議論
- 四 シュミット民主主義論の変容——指導者と人民

第七章 『憲法論』における民主主義的同一性原理——民主主義論の完成（1928年）

- 一 『憲法論』における人民の政治的統一としての国家論
- 二 『憲法論』における民主主義的同一性原理
- 三 代表原理
- 四 『憲法論』における同一性原理と代表原理の結合



ご注文は FAX で！ 03－3451－3124



新刊委託	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
			松本彩花 著 独裁と喝采 —カール・シュミット〈民主主義〉論の成立 ISBN978-4-7664-3009-7 C3031	6,600 円	★★

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

返品条件付注文品	番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
			細谷雄一・板橋拓己 編著 民主主義は甦るのか？—歴史から考えるポピュリズム ISBN978-4-7664-2946-6 C3031	2,200 円
			川崎修・萩原能久・出岡直也 編著 アーレントと二〇世紀の経験 ISBN978-4-7664-2440-9 C3010	3,960 円
			アンドレアス・ヴァルシング、ベルトルト・コーラー、ウルリヒ・ヴァルヘルム 編／板橋拓己・小野寺拓也 監訳 ナチズムは再来するのか？—民主主義をめぐるヴァイマル共和国の教訓 ISBN978-4-7664-2606-9 C1022	1,980 円